

かながわ市民オンブズマン 広報誌 第14号

～ も く じ ～

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 第5回 市民オンブズマン
全国大会参加報告 | 5. 第3回 役員会議事報告 |
| 2. 野球大会でん末記 | 6. 談合シンポジウム
開催のお知らせ |
| 3. 市民シンポジウム 開催報告 | 7. 事務局から |
| 4. 中井町土地開発公社
土地処分問題 その後 | 8. 今後の予定 |

第5回 市民オンブズマン 全国大会参加報告

第5回市民オンブズマン全国大会が、8月22、23両日大阪府高石市で開かれた。本県からは川崎芳樹、大川隆司（以上かながわ）、伊藤義雄（よこはま）、江川、黒川（以上かわさき）の5名が参加。全体では43都道府県から63団体約400人が集まった。参加者数は昨年の福岡大会並みだが、報告者に記載された各団体の会員数の合計が、昨年の3,000人弱から今年は5,000人にアップ。運動のすそ野が広がっている、と大阪朝日が報じていた。

全体会のメインテーマは、議会情報開鎖度ランキングと談合と無駄な公共事業の2つ。

議会情報開鎖度ランキングは今回はじめての試みで、議員の海外視察・議員野球大会・調査研究費の3項目についての情報がオープンになっている（公開請求すれば公開される）か、委員会の傍聴ができるか、議事録は適正に作成・公開されるか、等の尺度をポイント化し序列化したもの。

「一切非公開」というゼロスゴイ県が4つ（広島、愛媛、栃木、大分）もあってビックリする。

神奈川県は情報公開条例で議会が実施機関になっている数少ない県（ほかに三重、山梨、福岡がある。議会について情報公開要綱があるのが秋田、宮城、奈良）なので、その点でポイントをかせいではいけるが、常任委員会を傍聴させない点では悪質11県の1つになっている（前記最悪4県のほか岩手、茨城、石川、大阪、兵庫、岡山が神奈川とならぶ）。恥ずかしい限りである。

また198年度の議員野球大会の開催県である神奈川県では、大会参加者の名簿の公開を拒んでいる。公開度が高いといっても、現実はこの程度である。と調査結果の中で、しつかり指摘されてしまった。

「談合と無駄な公共事業」は昨年来のテーマで、松葉代表幹事が報告。昨年の大会で「入札予定価格の公表」を決議したことが功を奏し、本年4月1日付の建設省・自治省連名通達で予定価格の事後公表を地方に促し、建設省みずからも直轄工事の予定価格を事後公表するようになった。これを受けて今年度に入ってから予定価格の事後公表に踏み切る自治体がふえている。

事後にせよ予定価格が公表されることは非常

に意義がある。つまりこれが公表されると落札価格が予定価格にぴったり貼りついているケースと、予定価格の70～80%の水準まで落ちるケースとに2分されていることが判明する。前者（今回の調査では全体の約94%）は談合の結果と見てよい。この談合をなくすためには、業者の地域限定をやめ、一般競争入札を大幅に導入するなどの対策が必要—などの問題提起があった。

全体会議のあとは、5つの分科会—①議会・議員、②談合・公共事業、③情報公開、④不正支出、⑤活動のノウハウ—to わかれて熱心に討議。神奈川県勢は、①議会・議員（江口）、②談合・公共事業（山崎、伊藤、大川）、⑤活動ノウハウ（黒田）に参加。

なお大会では①議員野球大会への公費参加をとりやめるよう各県議会に申入れること、②情報公開法制定促進を各地選出の国会議員に働きかけること、③情報公開条例未制定の市町村で条例を制定させるよう働きかけることの3つが決議された。「野球大会」については早速成果があらわれたことは、森田さんの別稿のとおり。

（大川 記）

市民オンブズマン 全国大会に参加して

よこはま市民オンブズマン事務局長
伊藤義雄

今大会のテーマは、“議員さん何してまんねん”。サブテーマとして“止めなはれ、談合・裏金・無駄遣い”“見せへんか、皆の税金行くところ”が掲げられていました。

全体会議の冒頭、代表幹事の高橋氏、大阪代表委員の辻氏から挨拶および基調報告がありました。その中で印象的だったのは「今日まで、情報公開請求、住民監査請求、訴訟などでそれなりに活動は広がってきた。しかし、いまだ行政の本質に迫るものではなく、市民オンブズマンの活動は現在もまだ入り口にあり、真価が問われるのはこれから」という指摘。また、「情報を握るものが支配者になる」という歴史は今日

も続いている。市民が情報を握り、市民が主役になることを目指して明日へのエネルギーとしていこう」とも述べられていました。

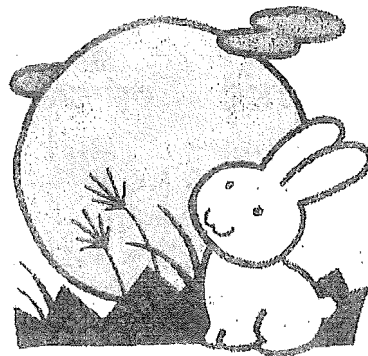
続いて「オンブズしまね」の渡部代表から議会情報開鎖度ランキングが発表され、各地のオンブズマンから代表的な事例の報告がありました。公開度の平均は3.4点。最高点は8.5点の三重県、最低は7点の広島県と愛媛県でしたが、あきれてしまうような報告が続いて会場は爆笑とため息に包まれました。

分科会では第2分科会（談合・公共事業）に参加しましたが、地域で深刻な談合問題を抱えている参加者の多さを反映して、大半の時間が談合問題の議論でした。

無駄な公共事業として全国の代表例がリストアップされていましたが、その中には横浜ベイブリッジの非効率性の指摘もありました。行政の本質に迫るには、不正とか違法の尺度にとどまらず、「不当」の追求の視点が必要です。「不当」については賛否が分かれ、概ね行政の言い分に押し切られやすいものです。これを乗り越える力をつけることがこれからの市民オンブズマンの最大の目標、という意を強くした全国大会でした。

（全国大会の報告書はオンブズマン事務所で保管しておりますので、ご覧になりたい方は木曜午後にご来所ください。）

* 次号に全国大会参加報告の第2弾として、川崎の黒田さんに「オンブズマン活動」の分科会をレポートしてもらいます。



野球大会てん末記

かねてから各地の市民オンブズマンが問題としてきた、都道府県議の野球大会があることか今年には神奈川の地で行われることとなった。8月29日の開会式に乗り込んで、抗議と共に、参加者の顔ぶれとプレーぶりを撮影しようと、「写真撮影隊」なるプランが全国連絡会議から呼び掛けられ、前夜に全国から集合、当日は地元神奈川のオンブズマンと共に朝から撮影行動をすることとなった。しかし、決まった時期が遅かったため、神奈川の会員に広報誌や役員会で伝えるいとまがなく、顔をあわせる機会のある人に呼び掛ける等して、なんとか地元で10名程度を集めるめどを付けた。

ところが、折からの集中豪雨。27日には野球が中止になるかも知れないとの話が伝わってきた。どちらにしても28日午後にはパシフィコ横浜で講演会があるというので、中止の場合はそちらでビラまきをすることとした。

結局、予定されていた野球場のいくつかが使えなくなったという理由で、28日の3時すぎには開会式も含め、野球大会は全面的に中止となり、桜井よしこ氏の講演会とそれに引き続くティーパーティーだけを行うことになった。そこで急遽4時にパシフィコ横浜に集合。急な変更にもかかわらず10数名が参加した。

「選手団」の議員たちは講演会場からエスカレーターでティーパーティーの会場に向かう。その降り口でビラをわたす。これは大変わたくしやすく、「選手」の一同も二次会の案内とでも思っただけ、積極的に手をだして受け取って行く。ビラを見てからの反応は興味深かった。少数だが「何っ、市民オンブズマンだと」、「ご苦労なことだ」などと（普段いじめられて？いるせいか）露骨な反感を示すもの。一方、「当然のことじゃないか」と怒ったように言い捨てて行く人が結構多かったが、ビラに書いてあるように「自費参加が当然」なのか、公費参加が当然でビラの内容はけしからんと言うのか、必ずしもはっきりしない。「うちは自費参加だ」と言って（それなら好意を示してもよさそうなものだがなぜかむっとした顔で）わざわざビラを返して来る人も何人かいた。

ビラ配りについては、県の担当職員とは、じやまにならぬように行なうことで暗黙の和解ができていたのだが、配りはじめてまもなく、地元神奈川の議員の責任者らしき人が飛んできて、ビラ配りなどやめろと大声でいきまいた。しかし、マスコミが何社もきてビラまきの様子を撮影していることに気付いたためか、早々に姿を消した。招待者に対するポーズとして抗議して見せないといけないとでも思ったのであろうか。

実際、マスコミの取材は多く、大川代表幹事はビラを受け取る議員たちを背景に何度もインタビューに応じていた。

ティーパーティーの会場を見ると、多数のコンパニオンがずらりと並び、テーブル上には缶ビールらしきものが並んでいる。なかなか華やかである。

後で聞いたところでは、桜井さんの講演は、公費で野球大会をすることを強く非難し、「公費で来た方は返しなさい」「私も講演料は返上します」と言った上、市民オンブズマンの調査結果をもとに、議会透明度の低い自治体を名指しであげ、これに対し議員からは罵声が浴びせられたそうである。県がどうして桜井さんに依頼したかはわからないが、少しはためになったであろうか。

ビラまき後、夕刻から、もともと予定されていた打合せ会を行った。各地からの参加予定者は、中止の報を聞いて取り止めた方もいたが、責任者である福島県の広田弁護士はじめ4名ほどが参加、地元からの参加者も含め盛り上がった。広田弁護士はかねて用意した、野球大会の不当性と今回の撮影行動の意義を格調高く訴える所信を表明し、中止になったことを大変残念がっていた。

神奈川での大会中止を機会に、こんな恥知らずな馬鹿騒ぎが今後行われなくなるなら、神奈川県民としては少しは誇りに思ってもよいかも知れない。

(森田 記)

市民シンポジウム 開催報告

去る8月23日、みなとみらい21において、税経新人会全国協議会主催、かながわ市民オンブズマン後援の市民シンポジウム『税の使途を追求する、それは昔も今も、私たち市民の権利です』が開催されました。当日は、市民105名を含む400名ほどの参加者がありました。

報告内容は以下の通りです。

1. 『税金で無駄な土地を買い続ける川崎市の「不動産行政」の実態』

かわさき市民オンブズマン代表
かながわ市民オンブズマン代表 篠原義仁 氏

2. 『税の専門家である税理士が、市民オンブズマン活動にどう取り組んでいるか』

市民オンブズパーソン^注 栃木事務局長
関東信越税経新人会 秋元照夫 氏

3. 『行政情報公開の求め方教えますー市民オンブズマン実践マニュアルー』

かながわ市民オンブズマン代表 本間弘彦 氏

4. 『今こそ市民のための国の情報公開制度を実現しよう』

情報公開法を求める市民運動事務局長

奥津茂樹 氏

会場からは、自らのオンブズ経験や市民オンブズマンに対する要望など、積極的な意見が交わされました。なお、当日の配布資料を希望される方は税経新人会事務局（☎045-314-5081）にお問い合わせ下さい。

(村上 記)

^注 栃木では「オンブズマン」という用語が男女差別を含むとして「オンブズパーソン」という言葉を使っているとのこと。ただし、この言葉の発祥地であるスウェーデンでは、「差別禁止オンブズマン」や女性の「ハンディキャップ・オンブズマン」などもあるようで、“オンブズマン”がジェンダー・バイアスのかかった表現かどうかは今のところ確認できていない。ご存知の方は編集部までご一報を。(村上)

中井町土地開発公社 土地処分問題

昨年12月、かながわ市民オンブズマンは、中井町土地開発公社が平成8年6月に行なった違法な土地処分について、同公社に対する監督権を発動するよう、神奈川県と中井町長に要請しました（本誌10号で既報）。8月18日、このオンブズマンの要請に対する実質的な回答が県から寄せられました。

同公社の土地処分というのは、昭和54年の東名高速道路秦野中井インターチェンジ用地の代替地提供に不足があるとして、その後の土地区画整理事業に強く反対していた地権者K氏に対し、平成8年、同公社が保有地約300㎡を売却と称して実際は無償による譲渡（贈与）を行なったというもの。K氏は同地に近隣住民の反対運動を押し切りパチンコ店を開設したことから、住民有志からオンブズマンに相談があり、監督権発動要請のアクションへとつながりました。

県からの回答は次のようなものでした。

平成8年の土地処分の適否の検討には、昭和54年に提供された代替地の不足の有無を明らかにする売買契約書が必要だが、町公社・K氏の両者とも保有しておらず、県としては適否の判断に踏み込めない。

しかし、証拠書類が保存されていない中で平成8年の土地処分が行なわれたことは町公社の業務運営として大変遺憾である。県としては、中井町長に対し、関係者への事実聴取を行なう等、事実解明のための調査を進めることを求めるとともに、町公社に対し、不適切な業務運営について必要な是正措置を講ずるよう要請する。

オンブズマンの指摘を受けて県が動いたことは評価できますが、300㎡もの土地を譲渡する対価について、根拠資料は何もないと言っている町公社の姿勢には驚くほかありません。

(保坂 記)

第3回 役員会議事報告

記録 森田明

日時 平成10年9月11日 18:30~21:00

場所 県民サポートセンター（横浜駅西口）

<議事内容>

活動報告

①全国大会の報告（1、2面参照）

②8. 1相談会報告

弁護士4名と代表幹事らが対応。談合問題、福祉施設建設問題、廃棄物処分場問題、野毛再開発問題、など。新しい問題は少なかったが、じっくり話げできた。

③都道府県議野球大会・・中止に（3面参照）

情報公開請求に対し、「不存在」の処分。大会実行委員会は議会とは別という理屈。訴訟を提起した。

④談合問題

座間市でも監査請求。相談会の際の話合いをもとに、10月にシンポジウムを実施することに（右面参照）

⑤盗聴事件についての監査請求

8月14日に、すでに返還されていることを理由に却下決定。しかし、その裏付けが明らかでない。提訴するか検討中。

⑥横浜市情報公開条例改正の動向

7月28日によこはま市民オンブズマンが意見書を提出。

9月4日に、市審査会、中間報告を発表。「検討中」が多く、態度がはっきりしない。中間報告を冊子にして市役所・区役所で配布中。「かながわ」も意見書を作成する。よこはま市民オンブズマンと連名で出してもよいのではないか。

⑦訴訟の動きの報告（6面日程を参照）

各地域の活動

①よこはま市民オンブズマン

栄区野七里の議員がらみの土地取引疑惑について、8月20日に監査請求提出。

運営関係

①学習会

9月12日に第1回（情報公開について）を行なう。

以後、11月21日（監査請求）、1月30日（住民訴訟）の予定

②財政など

目下入金は7割程度。会費請求と合わせて、活動への参加の仕方の希望を聞いてはどうか。地域のオンブズマンとの関係の整理はもう少し進展を見てから。

②役員会日程

原則第2金曜日、午後6時30分から県民サポートセンターとする。

次回10月9日は、談合シンポジウムとの関係上、18:00より18:30まで行ないます。遅れずにきて下さい。

以後、11月13日、12月11日。

1月13日は地方開催として鎌倉を予定。

談合シンポジウム 開催のお知らせ

今年は、座間市発注の公共工事をめぐる談合に関し刑事処分があり、また県と横浜市水道局に納入する水道管をめぐる談合について、私たちの申告を受けた公正取引委員会の立入検査がありました。

あとを絶たない談合をなくしてゆくにはどうしたらよいか、入札制度改革をすすめている座間、鎌倉、横須賀各市の実情を、成果と限界の両面から研究して、今後どんな取り組みをしたらよいのか、を考えたいと思います。多数ご参加下さい。

日時：10月9日（金）

午後6時30分～9時

場所：県民サポートセンター402号室

参加費：無料

会費納入のお願い

今年度（98年4月25日～）年会費未納入の会員の方には、郵便振替の用紙とアンケート葉書を同封させていただきました。息長くオンブズマン活動を維持していくために、ぜひ会費の納入をお願いします。

- * 年会費 5,000 円は、10 月末日までにご納入ください。
- * 既にお支払済にもかかわらず、手続途中で事務局未着のため振替用紙が同封されている場合は、どうぞご容赦ください。（その旨アンケート葉書にお書き添えの上、ご返送ください。）
- * 皆様のご意見を今後の活動に生かしたいと思えます。お忙しいとは存じますが、アンケート にお答えの上、10 月 8 日までに葉書を送り返してくださいますようお願い申し上げます。



今後の予定

10月13日（金）～18・00～19・00

- ・かながわ市民オンブズマン 役員会
（於 県民サポートセンター）

18・30から続けて談合シンポジウムを開催します。（5頁参照）お気軽にご参加ください。

10月13日（月）～16・00～

- ・縦貫道汚職 土地払下事件（原状回復請求）
（於 横浜地裁 1 民）
気軽にお越しください。

10月21日（水）～16・00～

- ・栗山町公共下水道事件
～公金支出差止請求と損害賠償請求～
（於 横浜地裁 1 民）

10月23日（水）～16・00～

- ・茅ヶ崎職員派遣事件
～損害賠償・不当利得請求～
（於 東京高裁 3 民）

10月26日（月）～18・00～

- ・水道メーター予定価格情報公開請求事件
～判決～
（於 横浜地裁 1 民）

〒245-0292 かながわ市市民オンブズマン 広報誌編集部

〒245-0292 かながわ市市民オンブズマン 広報誌編集部

〒245-0292 かながわ市市民オンブズマン 広報誌編集部

〒245-0292 かながわ市市民オンブズマン 広報誌編集部

（以下省略）

（以下省略）

（以下省略）

（以下省略）